

フィンランド（森と湖の国）・アイスランド（火山と氷河の国）旅行記

2017・2・4～11 6泊8日の旅 RSK-OB 高谷 昇 (TAKAYA NOBORU)

2017年2月4日から11日まで6泊8日で北欧、森と湖の国フィンランド

火山と氷河の国アイスランドを旅行しました。その旅行記です。最近の海外旅行は世界各地で起こるテロ事件、治安の不安定、そんな事をまず考えてどこへ行くか計画します。なかなか安心、安全な国が少ないのが現状です。ヨーロッパもシリア、イラク、など戦闘地域は無理ですが、トルコやドイツ、ベルギー、フランス、イギリスだって怖いものがあります。でもその辺の国は幸運にも旅行済みです。他に、スイス、イタリア、ギリシャ、スペイン、オーストリア、ハンガリー、チェコ、スロバキア、ポーランド、オランダ、スウェーデン、ノルウェー、デンマーク、も旅行済みなので、地の果ての火山と氷河の国アイスランドに行くことにしました。フィンランド（首都、ヘルシンキ）経由でアイスランドへ行くことになりました。

フィンランドは

1 ユーロ€＝約123円、日本との時差マイナス7時間、気温 -11℃

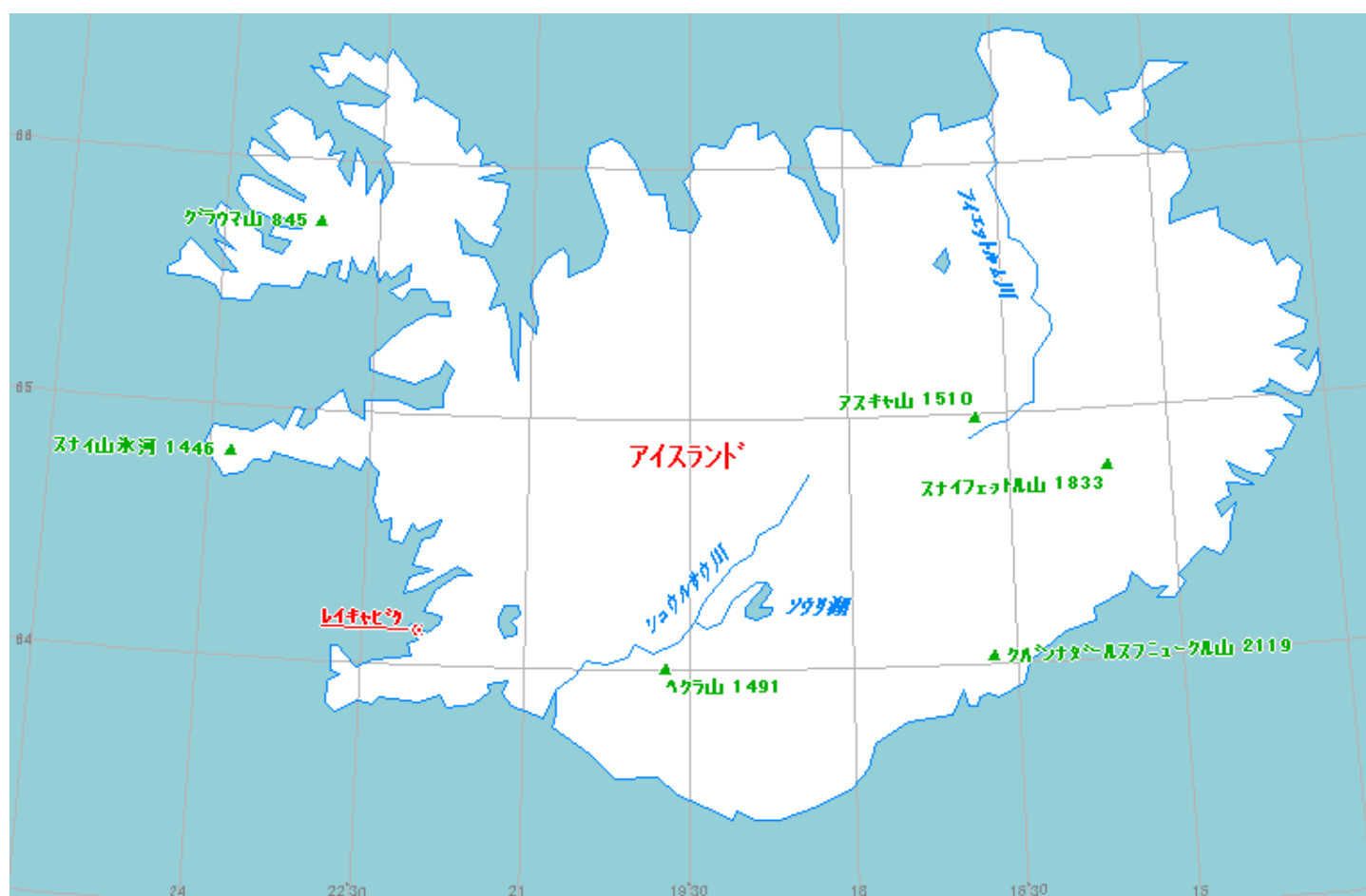
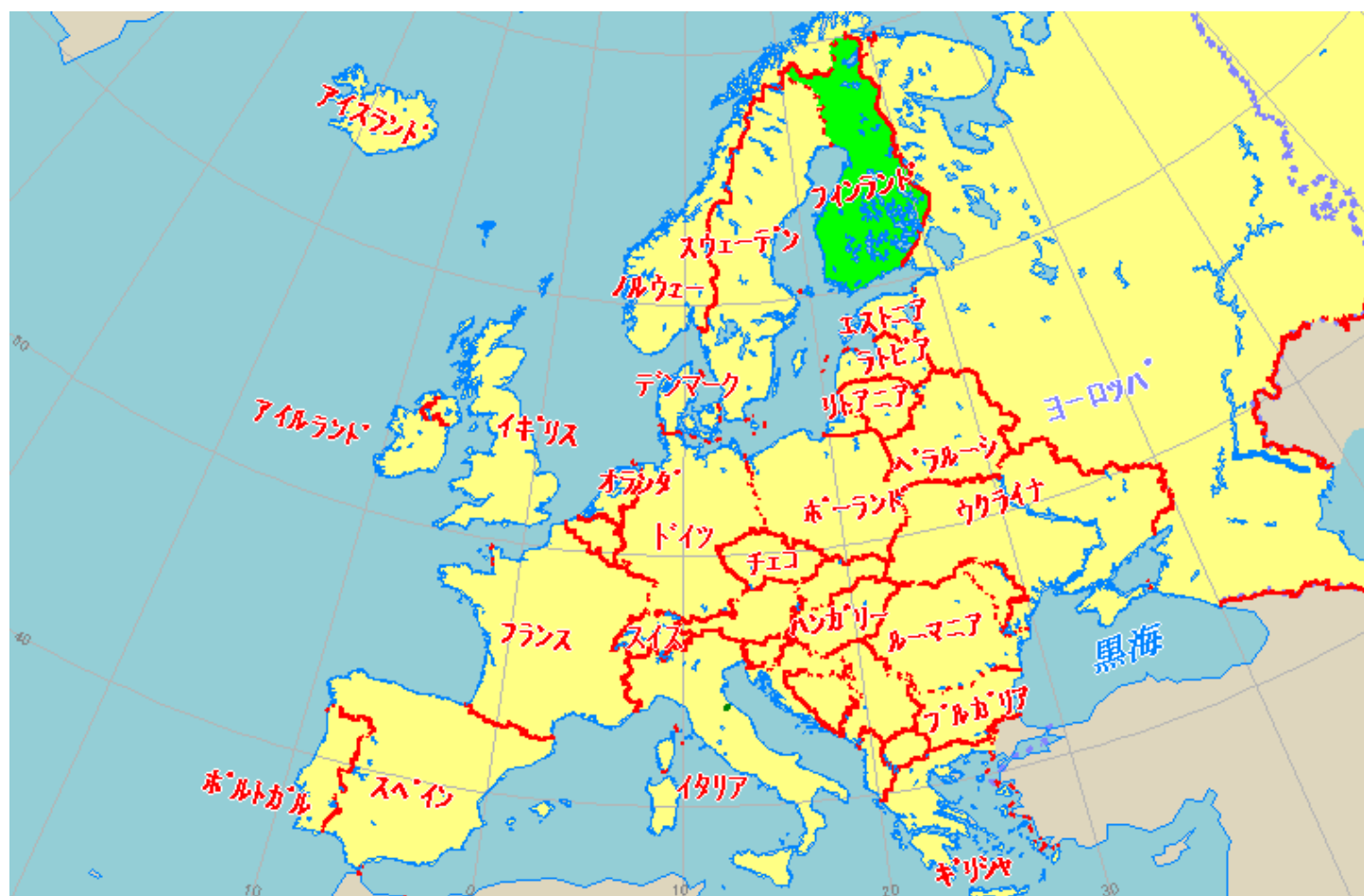
首都はヘルシンキ、人口は540万人、フィンランドに住んでる日本人1800人、

国土の3分の2が森林、18万の湖、サウナ、キシリトール発祥の国、

主食はジャガイモ、トナカイの肉料理、サーモン、サンタクロース村、ムーミン緑の国



フィンランド国旗



アイスランドは

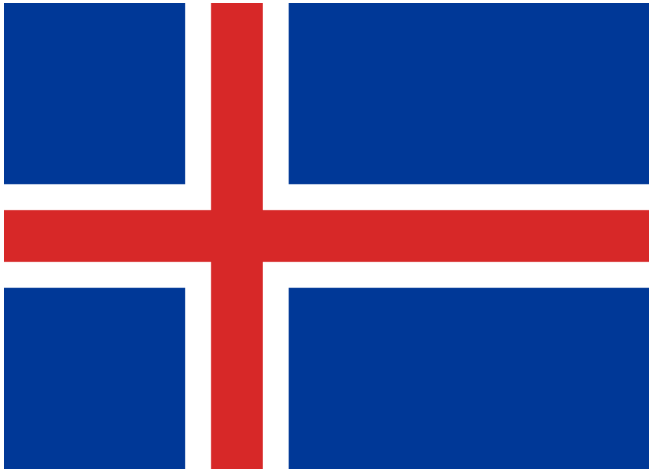
1 クローナ Kr = 約 1 円 日本との時差マイナス 9 時間 気温 +2℃

首都はレイキャビック、人口は 33 万人、アイスランドに住んでる日本人 100 人、

200 以上の火山、国土の 12% を占める氷河、フィヨルドに囲まれた

ヨーロッパ第 2 の島、北アメリカプレートとユーラシアプレートが引き合い

地球の割れ目の谷ギャウが島の中央を走り、現在も島は 1 年に 2~3 センチずつ成長を続けている。祖先は 9 世紀に定住を始めたノルウェーのヴァイキングといわれる。豊富な魚介類と羊肉、温泉熱で栽培した野菜、バナナまで温泉熱を利用して国内生産している。中でもラム肉と新鮮魚介類は絶品です。もちろん食べました、本当においしかったです。ヘルシンキは -11℃ で、アイスランドは +2~5℃ (メキシコ暖流が流れているので) なのですが、暴風雨の日が多く体感温度はヘルシンキといい勝負でした。



アイスランド国旗

第 1 日目 2 月 4 日

1 1 時 4 5 分 関西空港 → フィンランドの首都ヘルシンキへ・・・フィンランド航空で 1 0 時間 2 5 分
日本との時差は - 7 時間

1 5 時 1 0 分 ヘルシンキに到着



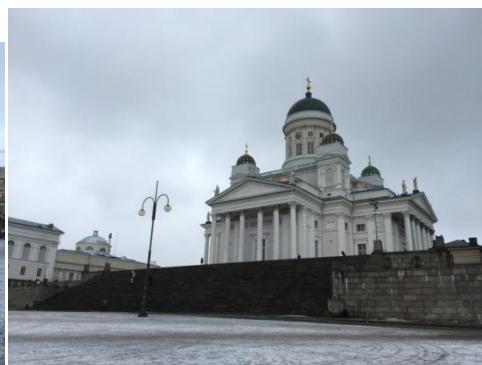


関西空港からヘルシンキへ・・・飛行機の中から・・・



ヘルシンキの空港からバスで市内へ・・・





．．．．．元老院広場．．．．．ヘルシンキ大聖堂



ヘルシンキ市役所．．．．．ヘルシンキの港、父母と子供．．．マイナス10℃雪景色



．．．フィンランドの首都ヘルシンキのマーケット．．．



．．．フィンランドの首都ヘルシンキの市内電車．．．

．．．．．ヘルシンキに宿泊．．．．

第2日目 2月5日

市内観光に出かけた人もいたが、前に1回ヘルシンキには来ていたので、飛行機疲れもあり午前中ホテルでゆっくりしていた。

11時50分専用バスでホテル出発→空港へ・・アイスランドへ向かうため



ヘルシンキの空港に日本のトヨタの新車が展示してあった。乗客が足を止め眺めていた。

1 4時20分空路、アイスランドへ・・・飛行時間3時間30分、時差－2時間

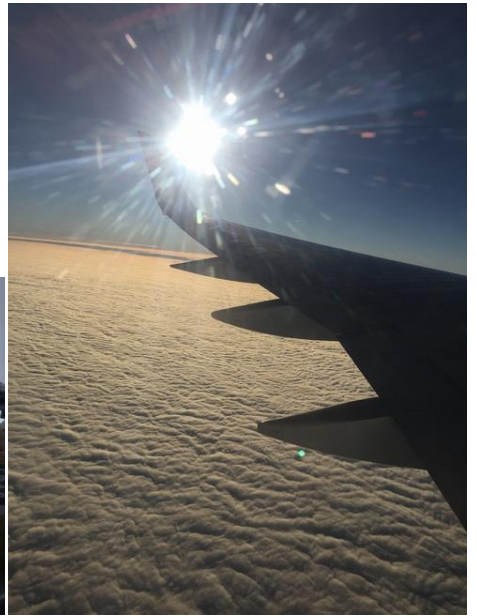
1 5時55分アイスランドのケフラヴィーク到着→専用バスでヘトラのホテルへ
夜は悪天候でオーロラ鑑賞はダメでした。

・・・アイスランド・・・ヘトラ宿泊・・・

第3日目 2月6日・・・アイスランド

アイスランドの南海岸の観光に専用バスで4時間30分走り到着し観光する。大西洋の荒波に浸食されて、凄い情景でした。暴風雨で大変でした。風速35mの台風状態でした。アイスランドでは日常なので、子供たちも登校していた。(日本では休校でしょう・・・)





セリャラントスフォスの滝・・・アイスランドの農家・・・アイスランドの飛行機の中から



フィンランドの有名な熊ビール・・生サーモンと野菜・・ジャガイモ、パン、スープ、ラム肉

アイスランドの南海岸、4時間30分掛けて、大西洋の荒波、奇岩、スコガ民族博物館の見学して、帰ろうとしたら例の暴風雨のためバスが発車出来ない。運転手が气象台、情報センター、他の運転手などと連絡を取り、1時間ほど現地で待つことになる。2時間ぐらいいしてやっと発車出来るとバスを動かしホテルへ向かう。バスのドアが音を立てて空いた。壊れたかと思ったら、よくある事とバスを止めて運転手が締めて、また走りだした。日本人の我々はビックリするばかりである。日本だと家を出ないように、看板など飛んでくるので十分な注意をして下さい。気象注意報が出る状態である。運転手は俺は30年間無事故で、この道を運転していると自慢していた。

バスもw i f i 無料、もちろんホテルも各部屋無料w i f i、レストラン、スーパーも無料w i f i、バスの中から生でf a c e b o o kで元RSKアナの遠藤寛子さんと会話をしました。地の果てから日本と生会話できるなんて、興奮でした。日本も無料w i f iの完備が急がれます。みんなスマホですから、観光地や公共施設、レストラン、スーパーなど・・急がねば・・

19時ごろやっとホテルに戻ってきた。今日も悪天候でオーロラ鑑賞は中止です。

・・・・アイスランドのヘトラ宿泊・・・・

第4日目 2月7日

9時ごろ専用バスで アイスランドホース牧場へ・・・
アイスランド固有の馬のショーを見学した。



この牧場はアイスランド馬、45頭を飼っていて、競技にでたり、子供を産ませて売っているとのこと。雪のトラックで走って見せてくれた。



ストロククル間欠泉・・・以前は70m噴き上がっていたが、現在は30mぐらい噴き上がっていた。いたるところ200℃～100℃ぐらいの温泉が湧き出ている。アイスランドはホテルは当然だが、一般家庭も湯は全て天然温泉、水は氷河の清水ですぐ飲める。温泉は硫黄泉です。湯は少し硫黄の臭いがするが、問題なし、風呂は硫黄温泉である。水道水も美味しかった。ミネラルウォーターを買う必要なし。ヨーロッパでは唯一の国であろう。日本と同じ軟水である。



グトルフォスの滝

世界遺産シングベトリール国立公園

この公園では地球の割れ目、ギャウを歩きました。ユーラシアプレートと北アメリカプレートがぶつかり、大きな溝が出来ている。即ちヨーロッパ大陸から歩いて北アメリカ大陸に渡ったというわけである。探検家、冒険家、気取りである。ここを渡ったところで、寒いトイレに行きたい。初めて有料トイレとなる。1人が200クローナ（200円）、フィンランドはEUなのでユーロであった。ユーロは前の旅行の残金があり、現金とクレジットカードと併用しました。アイスランドは物価が日本の約2倍なので、換金せず全部クレジットカードを使用した。クローナの現金無しです。トイレもカードで大丈夫でした。VISAかマスターズのカードは何処でも通用します。JCBはNGの所があります。日本で500円の生ビールは1200円でした。消費税は24.5%です。とにかく物価の高いのには驚きました。所得税も高く給料の半分は税金だそうです。ホテルに帰る。オーロラ鑑賞は悪天候のため中止・・・残念・・・

アイスランドの首都の・・・レイキャビックで宿泊・・・

第5日目 2月8日

9時ホテルを専用バスで出発・・・首都、レイキャビック市内観光、凄い暴風雨・・・



この白い建物は、昔、アメリカのレーガン大統領とソ連のゴルバチョフ大統領が冷戦に終止符を打つべく会談した建物です。モスクワからとワシントンの中にアイスランドのレイキャビックがあったと云う事でここで会談が持たれたとのこと。へーえ・・・



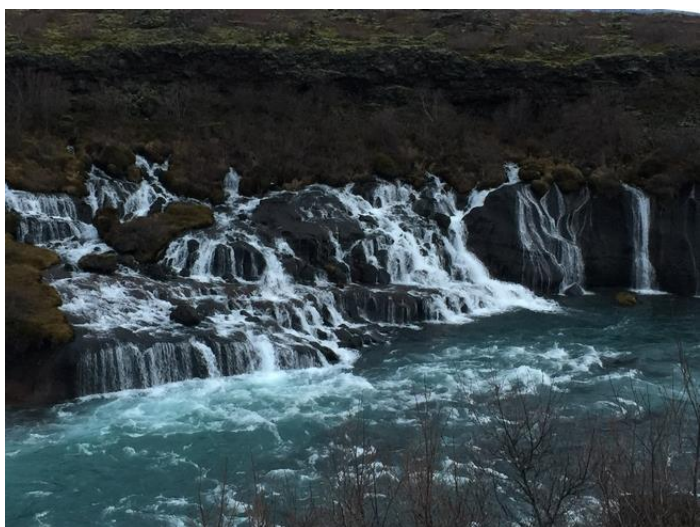
昼食はアイスランド名物の岩カニを含むシーフードプレート、ムール貝は多すぎる。岩カニは食べるところが無い。日本のカニが懐かしい・・・



昼食後、ブルーラグーン温泉露天風呂です。ここは塩温泉でした。大きな池に入るようでした。シャワーで綺麗に体を洗って、水着で混浴です。白い泥を顔に塗ると肌がすべすべして、美人になると言われ、もう取り返しのつかないようなおばちゃんも必死に顔に泥を塗っていた。白い歌舞伎俳優のような、おばさん、お姉さんがいっぱいでした。



温泉から上がって、飲んだ冷えた生ビールは流石に最高に美味しかったです。日本で500円がVISAカード支払いて1100円でした。高い・・・



ホテルへ帰る。悪天候でオーロラ鑑賞中止・・・

アイスランド首都 レイキャビック宿泊・・・

第6日目 2月9日

9時ホテル専用バスで出発・・・フーサフェットルへ

12時30分専用バスから雪上車に乗り換える。アイスランドで2番目に大きいラングヨークトル氷河へ・・・

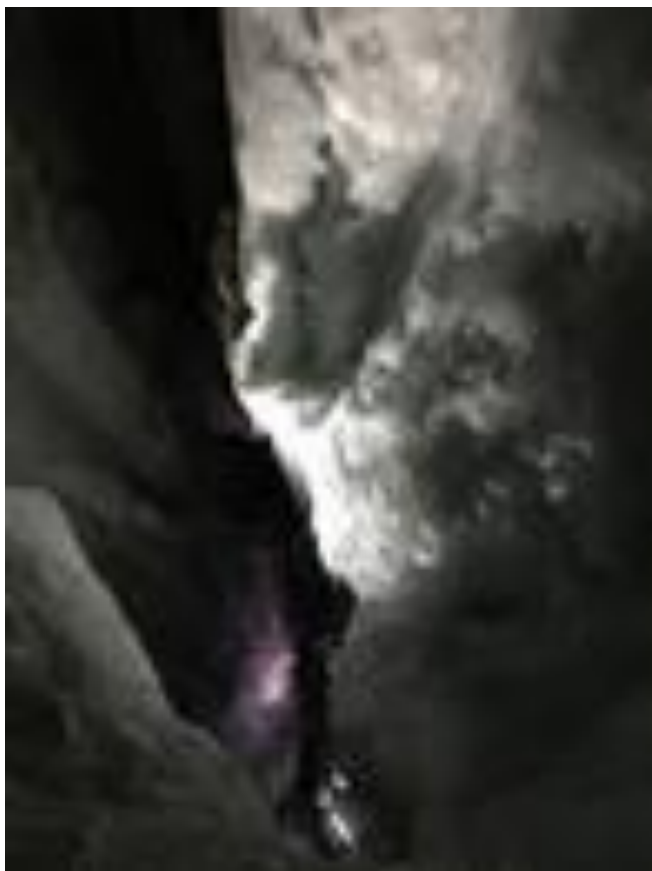
氷河の端から氷上専用のスーパートラックに乗り換えて氷の洞窟へ・・・

ラングヨークトル氷河・・・氷の洞窟・・・





氷の洞窟





この氷上専用のスーパートラックは凄かった。アイスランドを案内してくれたガイド達です。主に案内してくれたのが、女性の渡辺瑞穂さんでした。彼女は18年前、この地の果てのアイスランドにやってきて、アイスランド人の男と結婚して、2人ともガイドをしているとのこと。名古屋出身だがめったに帰れない。帰ると母親に叱られるという。アイスランドでは湯は温泉を一般家庭まで引きこんでいる。天然なのでしばらく出しっぱなしにしないとパイプの中の湯は冷たくなっている。しばらく出すと熱い湯がでてくる。水道水も出しっぱなしにする。硫黄温泉なので臭いがする。しばらく出すと冷たい氷河の清水、軟水の美味しい水道水となる。日本に帰っても癖になっているので湯や水を出しっぱなしにして母親に叱られるという。

観光後ホテルへ帰る・・・今夜はオーロラ鑑賞のバスが出ると云う。みんな喜んでバスで出かけた。寒かったが、皆さんにお見せする様なオーロラは見られませんでした。朝2時ホテルに帰る・・・

・・・残念またの機会をお楽しみに・・・

・・・・・・レイキャビックに宿泊・・・・・・

第7日目 2月10日

おかげで寝る間もなく、身支度をして4時に専用バスで空港へ・・・

7時30分アイスランドのケフラヴィーク発→ヘルシンキ行き・3時間25分飛行

時差+2時間 12時55分ヘルシンキ到着・・・空港で土産品の買い物

17時25分発→関西空港で帰る予定が、機器整備のため1時間遅れ

18時25分ヘルシンキ発→関西空港へ フィンランド航空9時間35分

・・・・・・機中泊・・・・・・

第8日目 2月11日

11時00分関西国際空港に到着→リムジンバスで→無事に自宅へ

フィンランドは-10℃、しかしメキシコ暖流のアイスランドは+2℃でしたが、アイスランドは毎日が暴風雨、とにかく風が強く体感温度ではかえって冷たいです。でも、住めば都ですかねえ。私は勘弁してほしいです。

最後までご覧いただきましてありがとうございました。

フィンランド（森と湖の国）・アイスランド（火山と氷河の国）旅行記

2017・2・4～11 6泊8日の旅 RSK-OB 高谷 昇 (TAKAYA NOBORU)

— (13) —